



2026年9月7日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

11,714万kW

14時、117,145 MW (10
エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

1,960万kW

11時30分、19,603 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

267万kW

7時、2,670 MW

◇ 再エネ最大需要
比

30.0%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

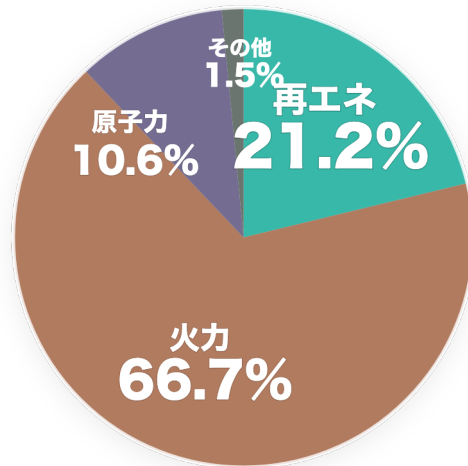
東京

113 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

111 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 47.0%

35.6 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

28.6 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

**太陽光と夕方需要の時間
差**

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、10:30に3,588万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで47.0%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	21.2%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	497 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,344 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	30.0%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	28.6 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	47.0%	35.6	0.0	送電 4.2
東北	28.6%	89.3	0.0	送電 111
東京	13.5%	84.3	0.0	受電 113
中部	23.8%	69.4	0.0	受電 77.8
北陸	32.7%	27.2	0.0	送電 7.8
関西	15.7%	56.6	0.0	受電 36.6
中国	18.4%	33.0	0.0	送電 11.6
四国	21.7%	22.1	0.0	送電 30.8
九州	26.5%	76.7	0.0	送電 40.6
沖縄	10.9%	3.1	0.0	—



2026年9月7日の供給実績

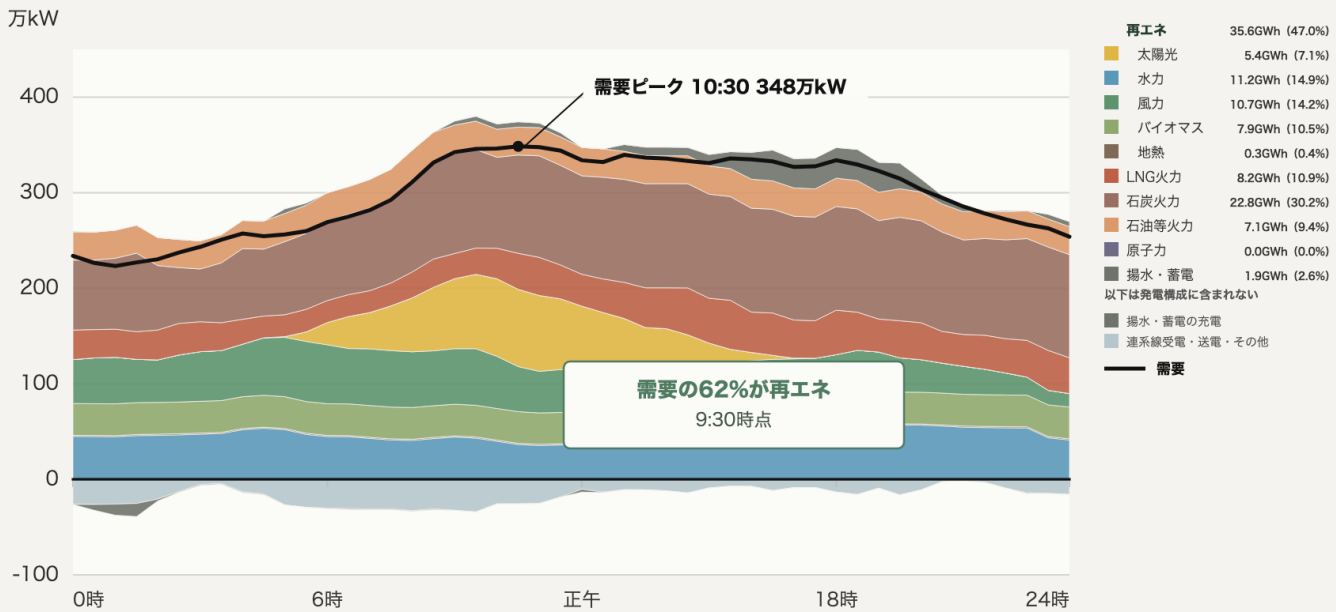
北海道エリア

再エネ

35.6GWh

(発電電力量ベース47.0%)

北海道エリア 2026年9月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

75.7GWh

需要ピーク

10:30、348万kW

連系線・その他

4.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク81万kW、風力ピーク63万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.1%だった。



2026年9月7日の供給実績

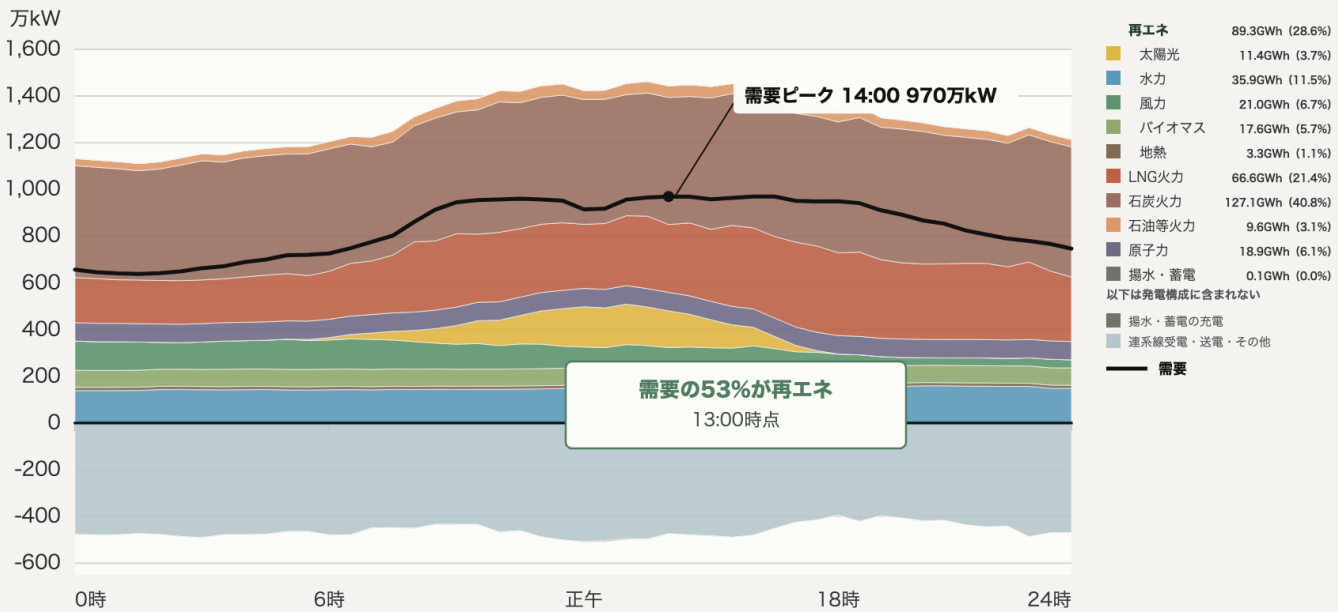
東北エリア

再エネ

89.2GWh

(発電電力量ベース28.6%)

東北エリア 2026年9月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

311.6GWh

需要ピーク

14:00、970万kW

連系線・その他

110.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク173万kW、風力ピーク129万kWで、時間別の再エネ最大需要比は54.4%だった。



2026年9月7日の供給実績

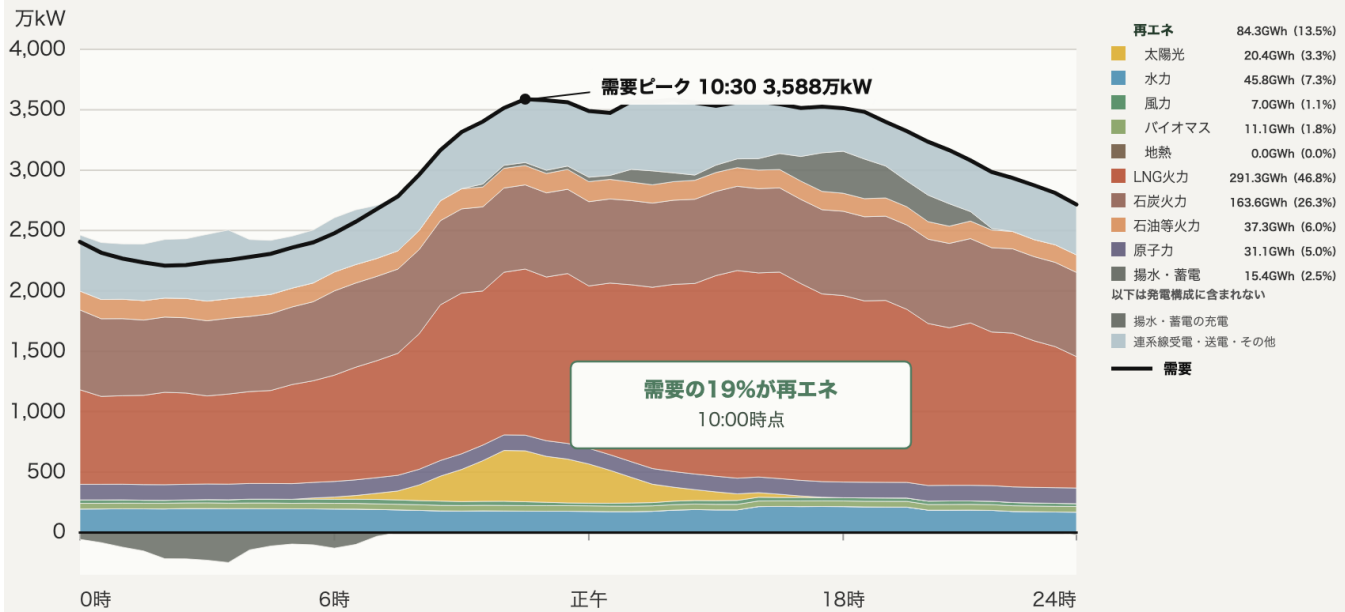
東京エリア

再エネ

84.3GWh

(発電電力量ベース13.5%)

東京エリア 2026年9月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量
622.8GWh

需要ピーク
10:30、3,588万kW

連系線・その他
113.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
10.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク422万kW、風力ピーク37万kWで、時間別の再エネ最大需要比は19.3%だった。



2026年9月7日の供給実績

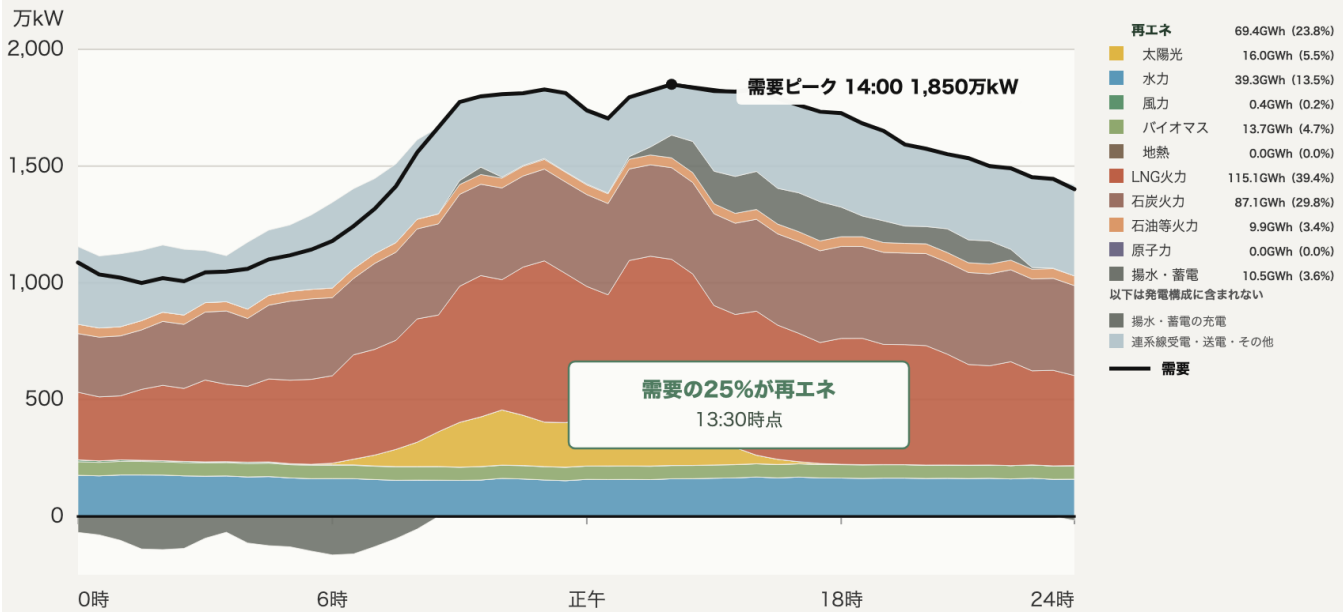
中部エリア

再エネ

69.4GWh

(発電電力量ベース23.8%)

中部エリア 2026年9月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

292.0GWh

需要ピーク

14:00、1,850万kW

連系線・その他

77.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク246万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.3%だった。



2026年9月7日の供給実績

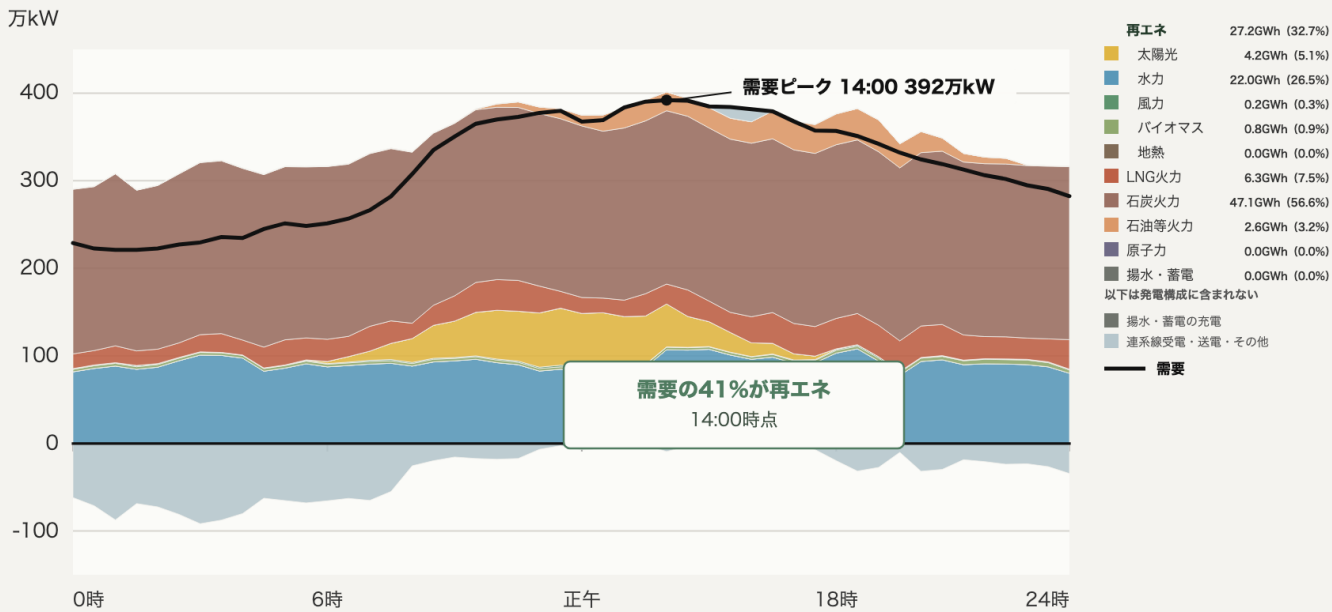
北陸エリア

再エネ

27.2GWh

(発電電力量ベース32.7%)

北陸エリア 2026年9月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

83.2GWh

需要ピーク

14:00、392万kW

連系線・その他

8.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク65万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.6%だった。



2026年9月7日の供給実績

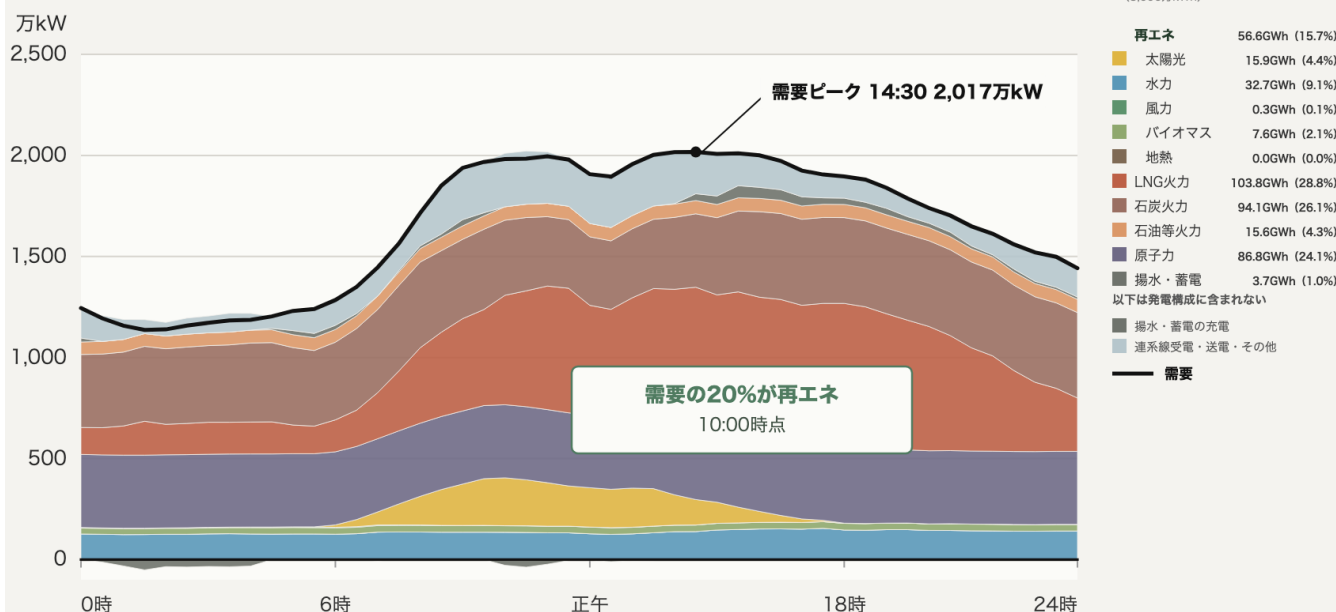
関西エリア

再エネ

56.6GWh

(発電電力量ベース15.7%)

関西エリア 2026年9月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

360.6GWh

需要ピーク

14:30、2,017万kW

連系線・その他

36.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

1.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク237万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は20.4%だった。



2026年9月7日の供給実績

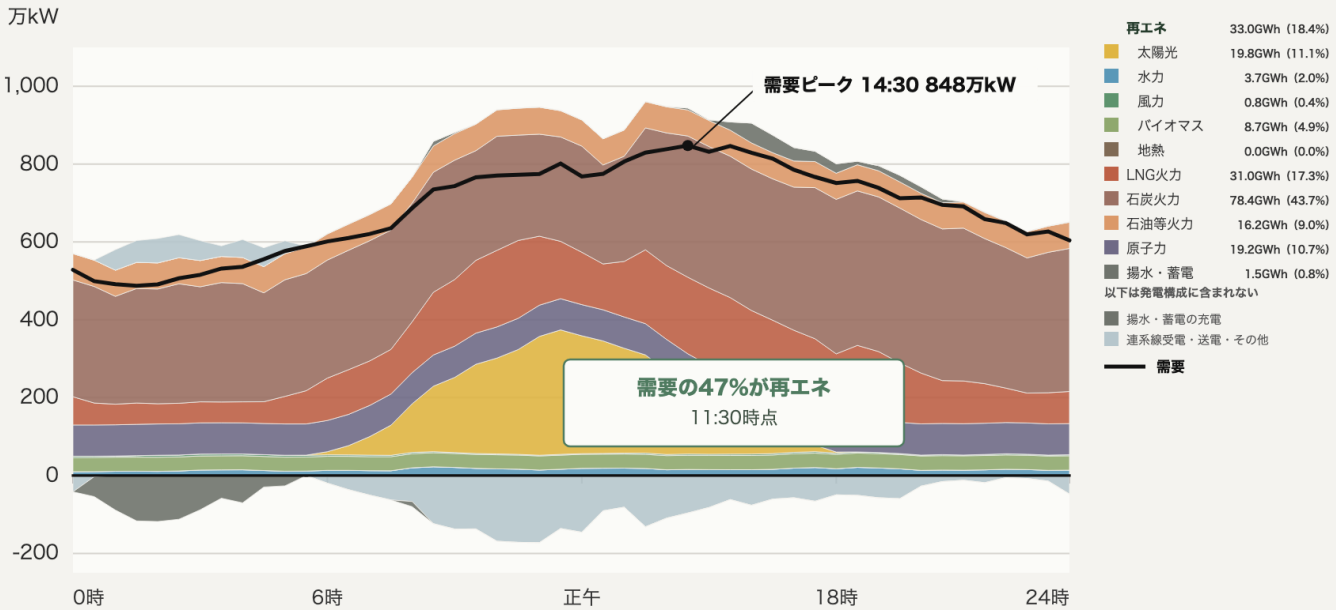
中国エリア

再エネ

33.0GWh

(発電電力量ベース18.4%)

中国エリア 2026年9月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

179.3GWh

需要ピーク

14:30、848万kW

連系線・その他

13.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

3.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク320万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は46.7%だった。



2026年9月7日の供給実績

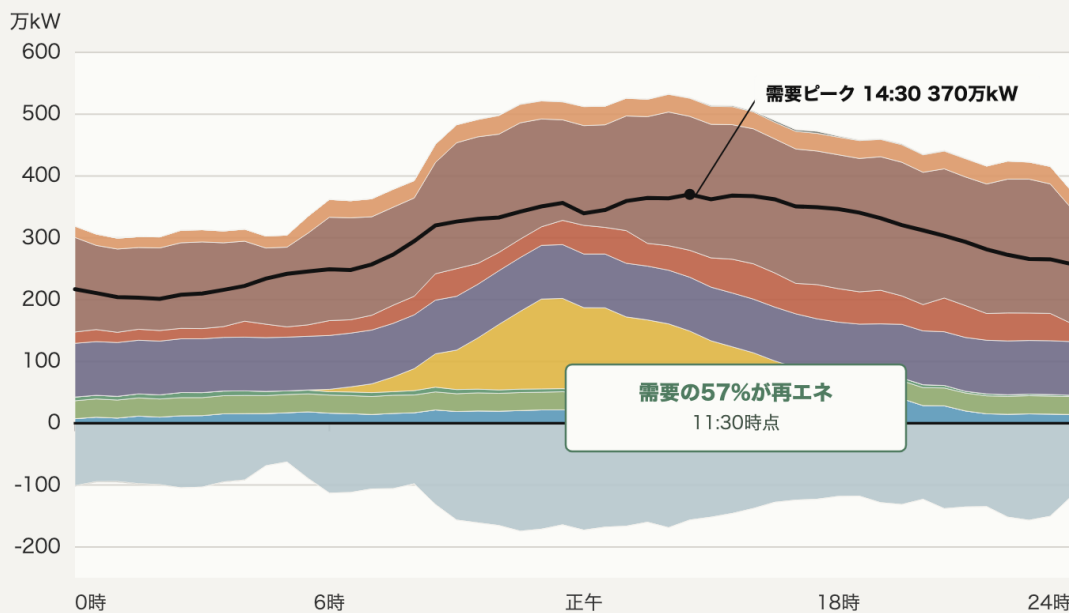
四国エリア

再エネ

22.1GWh

(発電電力量ベース21.7%)

四国エリア 2026年9月7日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 102GWh
(1,018万kWh)

再エネ	22.1GWh (21.7%)
太陽光	8.5GWh (8.3%)
水力	5.4GWh (5.3%)
風力	1.2GWh (1.2%)
バイオマス	7.0GWh (6.9%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	8.7GWh (8.6%)
石炭火力	43.7GWh (42.9%)
石油等火力	6.3GWh (6.2%)
原子力	20.9GWh (20.5%)
揚水・蓄電	0.1GWh (0.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

101.8GWh

需要ピーク

14:30、370万kW

連系線・その他

30.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク146万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.3%だった。



2026年9月7日の供給実績

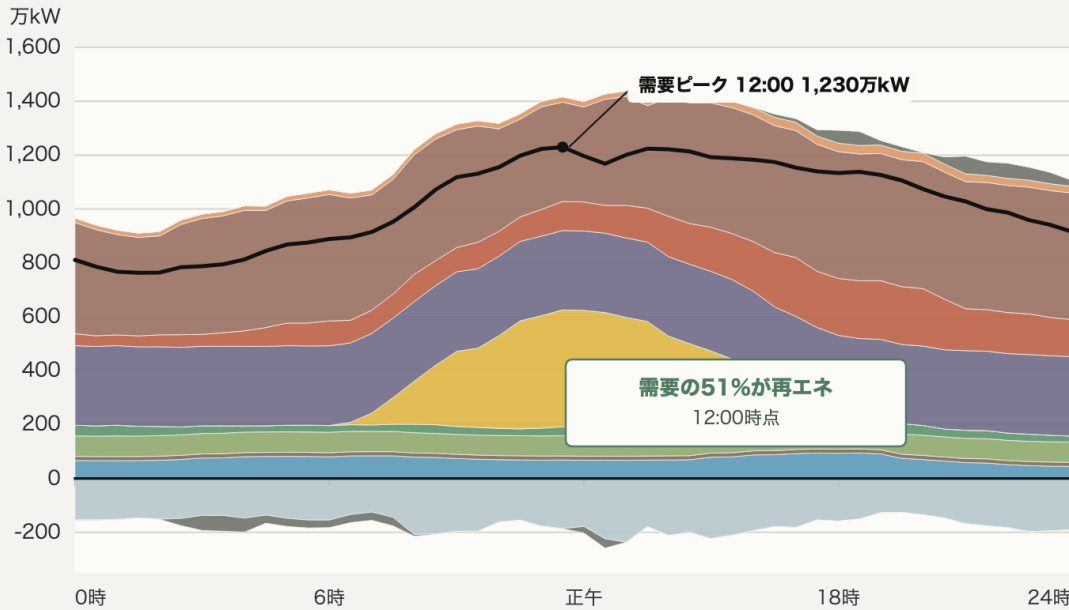
九州エリア

再エネ

76.7GWh

(発電電力量ベース26.5%)

九州エリア 2026年9月7日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 289GWh

(2,889万kWh)

再エネ	76.7GWh (26.5%)
太陽光	29.6GWh (10.2%)
水力	17.6GWh (6.1%)
風力	7.8GWh (2.7%)
バイオマス	18.0GWh (6.2%)
地熱	3.6GWh (1.3%)
LNG火力	29.1GWh (10.1%)
石炭火力	104.5GWh (36.2%)
石油等火力	5.3GWh (1.8%)
原子力	70.7GWh (24.5%)
揚水・蓄電	2.5GWh (0.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

288.9GWh

需要ピーク

12:00、1,230万kW

連系線・その他

40.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク434万kW、風力ピーク42万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.7%だった。



2026年9月7日の供給実績

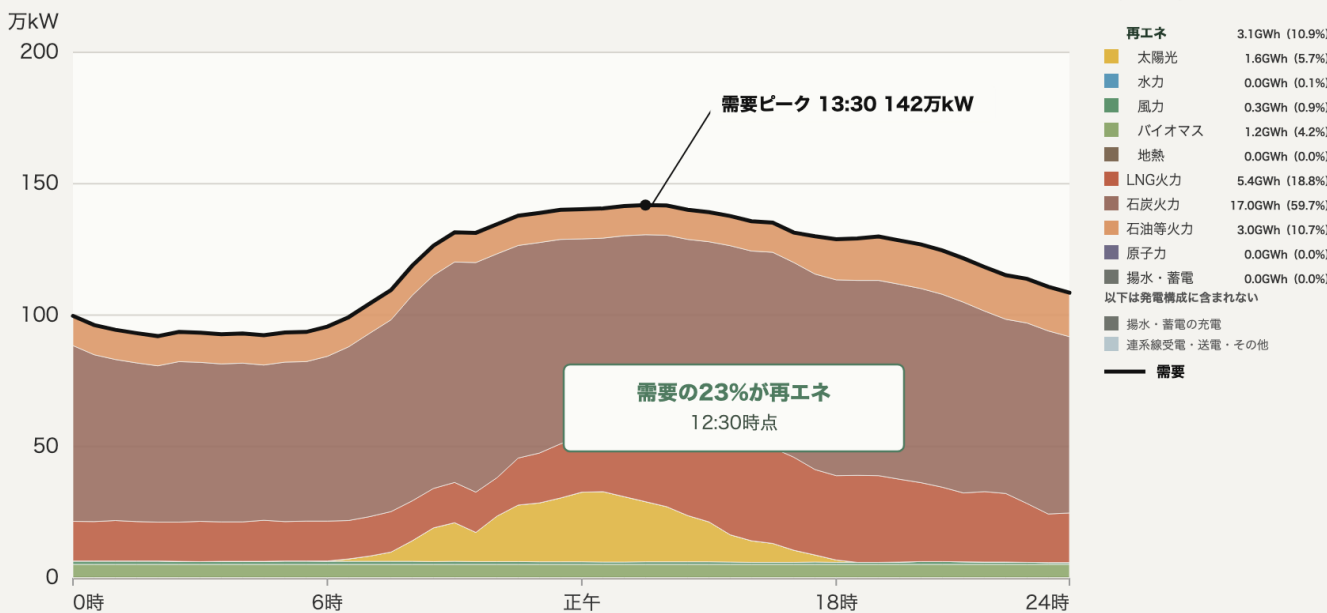
沖縄エリア

再エネ

3.1GWh

(発電電力量ベース10.9%)

沖縄エリア 2026年9月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

28.5GWh

需要ピーク

13:30、142万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク27万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.3%だった。